

◇東北漫遊（月山・栗駒山・秋田駒ヶ岳他）

2016年10月2日（日）～10月7日（金）

岡本単独

今年は、高齢者の仲間入りした所為か、年初から神経痛・腰痛・膝痛に悩まされ、中々思うように山に登れなくなった。少し体調を取り戻し、気候も良くなったことで比較的負担の軽い山々を歩いてみた。

10/2(日) 鳥海山に登る予定で象潟までドライブ。芭蕉の句にもあり一度訪れたかった場所だ。ゆっくり散策すればいい所も有りそうだったが、運転の疲れもありサボる。鳥海山の遠望と、夕日だけ楽しむ。



(酒田市から鳥海山を望む)



(象潟のホテルから見る夕日)

10/3(月) 晴れを狙ったはずが、生憎の雨。天気図を睨みながら、鳥海山をあきらめ月山に向かう。八合目登山口まで2時間強、何とか天気は持ちそうだ。曇り空ながら、海岸線も見え、山もそこそこ見通せる。登山口から少し上がった弥陀ヶ原付近は、丁度紅葉の盛りである。光が弱く紅葉が映えないものの、途中の仏生池小屋まで一時間余り、紅葉を楽しみながらの快適なハイキングだ。小屋から上は、風も強くガスもかかっていたが、それ程険しい道もなく、気分の良い山行が楽しめる。2時間弱で山頂に着く。山頂の月山神社に参る。曇っていたものの、雨にも遭わず、そこそこ紅葉も楽しめ、まずまずの山行だ。



(月山八合目弥陀ヶ原)



(月山への登山道)



(月山山頂)



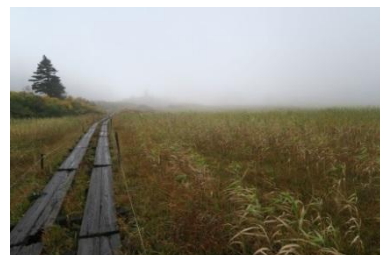
(羽黒山、出羽三山神社境内)

下山後、少し時間もあり車で羽黒山山頂まで行く。少し怪しげな神社ではあるが、まあ、百聞は一見に如かずと言うところか。ぐるっと散策して横手に向かう。

10/4(火) 今日も天気はイマイチであるが、栗駒山登山口の須川温泉へ向かう。駐車場に着くと温泉独特の硫黄臭が鼻をつく。ガスと強風で寒かったものの、温泉と紅葉が気分を和らげてくれる。紅葉の名所か、流石にここは登山客が多い。温泉の散策道を通り、名残ヶ原に出る。栗駒山はガスのため見えないが、中腹までの紅葉は綺麗だ。40分程歩くと昭和湖に出る。



(須川温泉)



(名残ヶ原)

ここからの紅葉も綺麗だが、やはり、雲のため、今ひとつ色が冴えない。もう一度天気の良い日に訪れたい場所だ。少し急な道を登りきると尾根に出る。そこが須川分岐。そこから山頂までわずかだが、ガスと強風のため少し難渋する。

山頂まで約1時間40分、天気が良いかと思うものの、何も見えず、風も強いので早々に退散する。下山道は、風を避け産沼経由の沢道を下りる。昼前での下山であり、時間もあるので八幡平まで

行く。八幡平は何度も行っているが、まだ山頂に行ったことが無かった。それ程距離はないと思ったのだが、何と走行距離で180km以上もある。着いてみると生憎のガス、証拠写真だけ撮る。紅葉は今ひとつだったが、好きな岩手山がよく見えたのが良かった。



(栗駒山の紅葉)



(栗駒山山頂)



(八幡平山頂)



(アスピーテラインより岩手山)

10/5(水) 横手から秋田駒ヶ岳、八合目小屋を目指す。以外に遠く、田沢湖畔を通り2時間ほど掛かった。台風が近づいているものの午前中は何とか天気が持ちそうだ。8時半八合目小屋を出発、暫く登ると田沢湖が眼下に見えるようになってくる。50分程で中心部の阿弥陀池に着く。最高峰の男女岳、



(阿弥陀池)



(男岳から田沢湖)

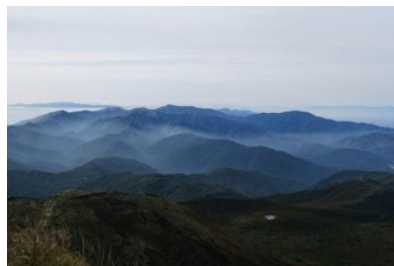


(右女岳、左小岳)

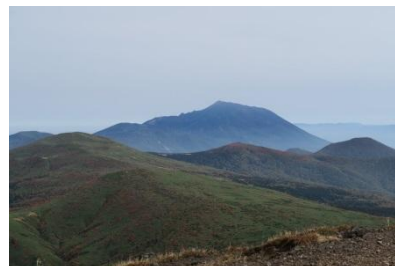
男岳、横岳に囲まれた火口湖のような場所だ。まず男岳に登る。尾根に出ると女岳、子岳がよく見え、三瓶山のような。男岳の山頂からの田沢湖と東北の山の大パノラマが素晴らしい。少し景色を楽しんだ後、男女岳に登る。共に360度の大眺望で、岩木山、岩手山、早池峰、鳥海山等、東北の山々が一望だ。次に横岳に登り、岩手山の眺望を楽しみながら、焼森山を通り、八合目小屋まで下りる。下山後、田沢湖と一周し、小岩井農場に寄って、盛岡のホテルへ向かう。



(男女岳山頂)



(焼石岳、栗駒山方面)



(焼森山から岩手山)

10/6(木) 未明から早朝に掛け台風が過ぎる。予定を変更して早池峰山に向かう。カーナビに従い近道の山道を抜ける、と、突然左前のタイヤの破裂音。J A Fに連絡し、修理が終わったのが11時過ぎ。仕方なく姫神山に向かう。天気は快晴、12時10分、気分を取り戻し登山再開。山は綺麗なコ



(姫神山から見る岩手山)

ニーデの火山。標高差



(姫神山)



(姫神山山頂)

は600m程だが、粘土質と火山岩の少し歩き辛い道だ。精英樹のある杉の植林帯を抜け、八合目を過ぎた辺りから徐々に景色が見えるようになる。岩場を抜けると山頂だ。真正面に岩手山が綺麗に見える。

10/7(金) 今日は最終日。昨日行けなかった早池峰山へ向かう。天気は快晴、上気分で登山口に着く。が、予定の頭垢離ルートは崩落で通行止め、紅葉に慰めながら小田越までアスファルトの道を30分余り歩く。ここで標高差200m弱稼ぐ。小田越登山口からは



(アスファルト道の紅葉)



(小田越を少し過ぎると岩ばかり)



(五合目付近から山頂方面)



(尾根手前の鉄梯子)



(尾根は榛松の樹氷)

樹林帯の中を少し歩くが、その後は山頂まで岩のゴロゴロした道が続く。快晴の気持ちの良い天候だが、気温が低い上に風が強く、五合目辺りから耳当てをしながらの山行となる。大きな岩の金梯子

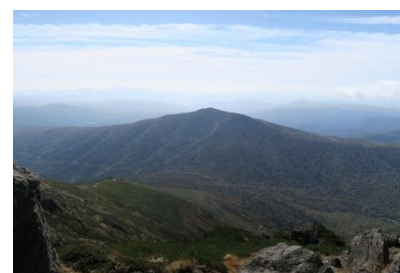
を登り切ると尾根に出る。昨日少し雪が降ったようで、所々に雪が残り、ハエマツには薄っすらと樹氷が残っていた。河原坊から山頂まで、約2時間の中々楽しいコースであった。同じ道に戻り、そのまま車で900km程走り続ける。家に着いたのは未明の午前1時過ぎだった。久々の、快晴の心地良い山行であった。



(早池峰山山頂)



(山頂から西、中岳方面)



(山頂から南、薬師岳方面)